

平野スタイル

<平野の時代と建物の歴史>

江戸時代～
明治時代

大正時代

昭和時代

現代

町家
(A)



平野スタイル
A-1

平野スタイル
A-2

平野スタイル
A-3

長屋
(B)



平野スタイル
B-1

平野スタイル
B-2

平野スタイル
B-3

屋敷
(C)



平野スタイル
C-1

平野スタイル
C-2

平野スタイル
C-3

江戸時代から平野のまち並みは時代とともに変化している。平野の人々は歴史性を維持しながらも改築・修復を繰り返し、現在まで建物を継承してきた。この結果、現在の平野では様々なタイプの建物がみられる。しかしそれらは全く異なるものではなく、どこか統一感があるところが平野の特徴であり、それが平野スタイルではないかと感じた。

しかし、今、平野スタイルはどうであろう。それがどこかで止まったような気がする。

今までの歴史性を維持しながらも新しい感覚を加えた建物がこれからも出来て欲しいと思う。止まった歴史を再び動かしましょう。

平野のまちを大きく3つのタイプに分けた。それぞれ町家(A)、長屋(B)、屋敷(C)である。江戸～大正時代の町家のうち、明治時代になるにつれ何軒かが改修・修復を繰り返し、または新築される。そのうちの何軒かが昭和時代になるにつれ、同じようなことが起こる。長屋、屋敷も同様で、この過程の中には江戸時代から現代まで続いているものもあるが、時代の途中で止まっているものもある。この平野スタイルが平野に様々な種類の建物を現代に残してきた。こういうまちは全国でも珍しく、この平野スタイルを後に残していきたい。

平野スタイルを再始動するためには新築、または改修・修復をし、A-1・A-2・A-3…A-nという平野スタイルの1軒になる。

今回は新築のケースで考える。